

長期維持管理技術委員会 平成 29 年度第 1 回 議事要旨

日時：平成 30 年 3 月 30 日（金） 15:00～17:15

場所：阪神高速道路（株）本社 11F 会議室

出席：委員長：宮川 豊章（京都大学 特任教授）

委員：森川 英典（神戸大学大学院工学研究科 教授）

杉浦 邦征（京都大学大学院工学研究科 教授）

議事：

1. 前回議事要旨の確認
2. 維持管理マネジメント高度化検討状況（RC 床版）
3. 維持管理マネジメント高度化検討状況（PC 桁）
4. 大規模更新事業の状況報告
5. 大規模修繕事業の状況報告
6. その他

主な意見等

○維持管理マネジメント高度化検討状況（RC 床版）

- ・ RC 床版の鋼板補強と床版防水の施工順序については、床版防水先行の効果が顕著。また、交通量の大小による差も明確であった。
- ・ 母材コンクリートの付着強度が低いと、鋼板補強効果も低くなると考えられるため、母材強度の確認は重要。
- ・ 単純な圧縮強度、静弾性係数と内部損傷との比較だけでなく、多面的な考察も検討されたい。

○維持管理マネジメント高度化検討状況（PC 桁）

- ・ 表面保護の対策理由を把握し、維持管理することが重要。
- ・ 特異データの分析でコンクリート強度がやや低いのは、乾燥収縮や骨材の影響も懸念される。
- ・ PC 鋼材に塩化物が付着していると、少しえぐれるような断面欠損となり、破断の危険性が高くなる。
- ・ PC 鋼材腐食状況だけでなく、グラウト充填不良の状況も把握すること。
- ・ PC 桁では、外観変状と内部損傷の相関はないと考えていたが、漏水・遊離石灰と内部損傷に関連がありそうであれば新たな知見になるので、漏水・遊離石灰の発生状況を詳細に分析されたい。

○大規模更新事業の状況報告

- ・ 特になし

○大規模修繕事業の状況報告

- ・ データを収集し様々な因果関係を明確にすることが重要。色々な試験方法を試みて、データを正確に取得する方法を検討すべき。

以 上